



施設営繕第一課 保全

電気

施設営繕担当部
施設営繕第一課
保全

高澤 和行

(H11 年度採用)

烏山総合支所まちづくり部

土木課烏山土木管理事務所

～ 教育委員会事務局施設課整備係

～ 東京 23 区清掃一部事務組合

千歳清掃工場 (派遣)

～ 施設営繕担当部

施設営繕第二課設備

～ 施設営繕担当部

施設営繕第一課保全

保全の仕事

世田谷区では数多くの施設を保有しております。保全とは、区立の保育園、学校、図書館、出張所など生活に密着した公共施設全てを安全、快適に稼働させるため、改修、修繕を行い適正に維持管理するのが業務です。

電気職として設備面を中心に建物全体が安全に、そして快適に利用できるように、調査・検討を行い、設計・工事発注と監督を行います。

建物にとって電気設備は、非常に重要なインフラです。事故などを未然に防ぎ、当たり前のように利用できることに加え、特に震災以降は積極的な省エネ対策への取り組みが重要な仕事となっています。

仕事とやりがい

私は入所して複数の職場を経験することができました。どの職場も直接的または間接的に区民生活に重要な仕事であると実感できます。

道路管理を行う土木管理事務所では、道路照明など日々の生活に密着した仕事を行い、区民の方から直接意見や要望を受け、直ぐに対応を行うことの重要性を実感しました。教育委員会では学校等の運営を第一優先に、ハード面から建物のあり方から維持管理の方法を考え決定します。清掃工場では、可燃ごみ焼却の継続操業を目指し、大型機械を直接操作することも出来ました。

今の職場では、これまでの職場での経験が非常に役立っています。古くなったもの(電気設備)を単に取替るのではなく、運用する側の立場を考え、求められるものは何か、維持費も含めこの先10年、20年後も利用できるものを意識することが重要であると考えようになりました。工事後に何もトラブルの無いことが「達成感」になります。

また、太陽光などの発電設備、LED照明など新しい技術の導入について、安全性、効果を検証し採用を決定することも出来る職場であり「仕事とやりがい」に困ることはありません。



改修予定の事務室です
限られた予算で省エネと快適性を如何に実現する。
腕の見せ所です



古いタイプの屋内型の電気室です
停電事故などを未然に防ぐには何処を更新するか...